



凡 例	
	公園・広場など
	集会所・公民館
	自治会や町会の備蓄倉庫
	消防署や消防団詰所
	病院・診療所など
	スーパー・薬局・ホームセンターなど
	路地・狭あい道路
	問題・危険箇所
	町丁目境界
	強み
	弱み
	指定避難場所
	広域避難場所
	避難所
	避難場所かつ避難所
	1 一次避難所
	2 二次避難所
	福祉避難所

地震災害、多摩川洪水、内水はんぷでは指定される避難所が異なります。府中市ハンドブックP.29～P.34で確認できます。

押立圏域 強み・弱みマップ

押立一丁目周辺の強み・弱み

強み

- 狭あい道路が少ない
- 倒壊にくい建物が多い
- 人のつながり少ない
- 住民間の連携がない
- 中高生が少ない
- 若者が少ない
- 居住マンションの住民しか分からない
- 防災倉庫の中身、鍵の所在不明(1丁目倉庫)
- 防災機材倉庫の管理していない

弱み

- 避難マニュアルがない
- 防災機材が不十分
- 訓練が不十分
- マンションが高台に
- 周りがマンションで周囲が見にくい
- 連絡がしにくい
- 区が広い

押立四・五丁目周辺の強み・弱み

強み

- 高層建物がない
- 庭が広い
- アパートが少ない
- アパートの近くに管理人がいる
- 防犯パトロールによる安全確保
- 単身者が少ない
- 祭りを通じた知り合いが多い
- 消防団OBが多数いる
- わんわんパトロールでメールによる情報共有

弱み

- 空き家が多い
- 番地が分かりづらい
- 高齢者が多い
- デイケアセンター通いが多い
- 幼児(赤ちゃん)が多い
- 個人情報守秘義務で知らない人もいる
- 会員のやり手の決定方法(くじ引きでは1年限り!?)
- 自治会全体のことを知っている人が少ない
- 川崎のメールが入るが、府中は少ない

押立二・三丁目周辺の強み・弱み

強み

- 集会所が多い人のつながりづくりやすい
- 防災活動を推進する人材がいる
- 防災組織が機能するか課題
- 防災活動の取り組みが少ない
- 避難所運営訓練をしていない
- 防災意識が薄い
- 物資・資機材、近隣企業の応援体制がない
- 自治意識が少ない
- 高齢者が多い(若者少ない)
- 中高生が多くても日中不在
- 子供・小中学生が少ない
- 横のつながりが弱い
- 住民の共助意識が低い
- 人付き合いに無関心
- 自治会役員のなり手がいない
- 偏る傾向があり活動が広がらない
- 夜間の照明が不足している
- スーパーが少ない

強み

- 防災訓練を毎年実施している
- 防災組織がある (押立中部自治会)
- 防災訓練を毎年実施している
- 防災ツールの備えがある
- 防災(自衛)隊がある (押立町二丁目自治会)

学生がいる

避難場所が近い

病院が少ない

狭あい道路あり

高い目隠し塀

自治会が小規模でまとまりやすい

家屋密集地

狭あい道路あり

プロパンガスの住宅

昔からの住民のつながりが多い(押立4丁目)

消防施設1か所のみ

多摩川が怖い

狭あい道路あり